

「家族と何度も相談を重ねて 決めた進学」



岩瀬 未来 氏

所属 医療法人社団武蔵野会
TMG 宗岡中央病院
卒業校 朝霞地区看護専門学校
2年課程全日制

家庭と育児と学校を両立して、准看護師から看護師になった岩瀬さんにインタビューしました。

一看護師を志したきっかけはありますか

私は幼少期に病気をしたことがあり、看護師さんにお世話になったことがあります。その時の看護師さんの優しい印象があったことと、姉が看護師をしており、その姿をみて看護師に憧れたことがきっかけです。

一准看護師から看護師を目指した理由 について教えてください

准看護師として勤務した5年の実務経験を活かし、スキルアップと知識をつけたいと思いました。

家族の協力体制が必要なことと、子どもが3歳と小さかったので、家族と繰り返し何度も何度も相談し進学を決めました。

また、同じ施設の医師が「先を目指すなら早い方がいいよ」と背中を押してくれたので、このタイミングで進学しました。

一進学先はどのように決められましたか

地元では、3年課程の学校が多かったですが、私は2年課程全日制の学校を選択しました。家庭と育児と学校を両立するには、私にとっての1年は非常に大きいものでした。

凝縮されたカリキュラムと向き合うことを覚悟しました。看護学校の見学や在校生の話を聞いて、自分の年齢の事などもあわせて検討し、2年課程全日制の学校に決めました。

一学費や奨学金について教えてください

病院からの奨学金を受けました。卒業後一定期間勤務することで返済免除になったので、負担はありませんでした。

一学生生活について教えてください

解剖生理の授業が難しかったです。克服方法は短期集中で、赤点を取らないよう、テストを何枚もコピーして解くなどして、工夫しました。ストレス解消方法は、友達と飲みに行くこと

です。学生は年齢層が幅広く、同じ病院内の職員はいませんでしたが、同級生とはいまでも交流する良好な関係が続いています。

一家庭と学業の両立・工夫について

家族は、行けるのであれば進学した方が良いと言ってくれ、反対は全くありませんでした。後々家族のためにもなるので家族も協力してくれました。

特に実習の期間、次に国家試験の勉強期間はたくさんの協力をもらいました。体調を崩して子育てができなかった時は、両親に来て貰ったこともありました。

家に帰ると家庭があるので、学校での授業はしっかり集中してやりました。自宅では子どもを早く寝かしつけ、勉強時間を確保しました。1年生の頃はできるだけ毎日1時間は勉強するように決めていました。できない時は5時頃、いつもより1時間早く起きて勉強していました。

子どもの送迎は、主人がしてくれたのでありがたかったです。看護師になるまで、義理の両親の協力もありましたが、つくづく大変でした。努力が実って合格した時は、家族みんなが喜んでお祝いしてくれました。

一国家試験対策について

国家試験対策としては、何度も過去問を解きました。11月頃は追い込みで子どもを送り出した後で勉強し、1日の半分以上の時間を費やしました。メリハリをつけて、スケジュールを立てて臨みました。

一看護師になって

コミュニケーションを取ること、先輩達との関わり方を大切にしていました。

同じ系列の施設で働いていたこともあり、看護師になってからも、今までの実務経験を活かすことができ良かったと思います。

一将来的な希望はありますか

可能であれば、助産師の資格を取りたいと考えています。子どもにも我慢をさせていたので、今すぐとはいきませんが、次のステップへ進むことも考えています。

一准看護師へのメッセージ

私は経験から看護師になりたかった夢を持ちました。

自分だけではなく、周囲の協力があるのであれば、看護師を目指して欲しいと思います。

上司からのメッセージ

岩瀬さんは、2024年3月に朝霞地区看護専門学校を卒業し、看護師国家試験に合格、看護師として当院に入職しました。

准看護師経験があり、同期入職した職員の良き相談相手としての役割を果たしてくれています。また、子育てと仕事の両立ができています。きっと私達には見えないところで、人一倍の努力をされているのでしょう。頭が下がります。

いつも平常心で、患者さんにやさしく、笑顔が素敵な岩瀬さん……これからの活躍を期待しています。

看護部長 崎田一美